

竹屋陶板浴社長  
京子のつぶやき  
人生知らないことだらけ

No.88

たんぽぽの会(ガン交流会)で電磁波の学習会をしました。講師は医療ルポライターの竹内れい子さんです。電磁波は身体に炎症を起こしやすくするなどの健康への害があること、そして予防する方法も教えて頂きました。その後の竹内れい子さんのお話も凄いです。「カタカムナ」の世界です。この不思議な言葉にパワーがあるなんて。私たちは見えるものは信用しますが、目に見えないものはとにかく敬遠しがちです。現在、陶板浴内では目に見えない力が大手を振っています。考えてみたらリフレパッドやリフレケット、ペールもそうです。「なんだかわからないがこれを敷いて寝ると、今までの睡眠と質が違う気がする、朝がスッキリ目覚める」と言っています。前回陶板浴で講演して下さった瀧上先生も健康で氣が出やすい体は「姿勢・前向きな言葉・呼吸」と必要条件がありました。これも自分では見えません。古代に使われていたであろう「カタカムナ」の言葉、これで診療もしている仙台にある丸山アレルギークリニック医院長の事を書いたライターが竹内さんです。心の中では「これはいったい竹屋陶板浴はどの方向に向かうのか」とも思いました。スタッフやお客様たちとも「カタカムナ」の言葉を唱え実験してもらおうと、なんと指に変化を感じてくるのです。ある方は指に振動が起きてくる方もいました。医療がない時代は言葉で治す人たちがいたのでしょうか。現代にも「カタカムナ」を治療にとり入れている医師がいるなんて。日進月歩で医療は進化している時代です。しかし病気の人たちも増えているのが現実です。人間の持つ自然治癒力、自分の免疫を高めることで病気がよくなるのは最高です。なんでもいいのです、健康になれば。5月には再び竹内れい子さんに来て頂く予定です。ふふふっ、私仙台まで丸山医師へ体験しに行こうと思っています。

サーモセルクリニックの奴久妻先生と3人で遅い新年会をしました。奴久妻先生は陶板浴内で3回ほど講演をして下さり、陶板浴利用前と後の血液検査をし、データを送って下さった先生です。先生に「陶板浴は凄いですよ」と何度か言っていました。慣れてしまうとそんなものかと思っていた自分に反省です。これが飲み会での話なのかと思うくらいで思わずノートを取りました。身体を温めることで免疫力の要であるリンパ球が上げられるのは、お湯と陶板浴だけだそうです。他の温浴施設は顆粒球が上がってしまうそうです。体の弱い方や病気の方は岩盤浴やサウナが苦手なのはこうゆうことだったのですね。それに、いいサプリを飲んでも体温が低いと効果が出ないそうです。ミトコンドリアは一定の熱がないと活発に働かないからだそうです。なるほどと目から鱗ってこんなことを言うのですね。いくら身体にいいものを摂取しても身体に一定の体温がなければ栄養にもならないし却って害になってしまう事もあるのですよね。